

平成 21 年度 知床世界自然遺産生態系調査報告会

知床世界自然遺産生態系調査報告会のご案内

このほど、知床世界自然遺産地域に関わる様々な調査研究の成果の報告会を、下記のとおり開催することとなりました。知床世界自然遺産地域科学委員会委員、当地域における各種調査研究への参加者、及び、今後関わることを検討されている皆様に広く参集を呼びかけたいと考えております。皆様が所属される各種試験研究機関、学会などを通じて広報いただきたくお願い申し上げます。

主催：環境省釧路自然環境事務所

日時：2010年2月17日（水）09：30～18：30

対象：知床世界自然遺産地域に関する各種調査研究に係る研究者、当地域での調査研究に興味を持たれている研究者、院生、学生及び、行政関係機関担当者、マスコミ

場所：札幌市教育文化会館 講堂、研修室 302 （札幌市中央区北1条西13丁目）



開催趣旨

知床では、平成 17 年に世界自然遺産として登録されたことを契機に、生態系を総合的に把握することを目的として今年度までの 5 年間に「知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査事業」が実施されてきている。このほか、本地域では様々な実施主体による多分野の調査研究が進められてきており、本報告会はそれぞれの成果を一同に会して発表し、情報を共有する機会として生態系モニタリング調査事業の中で平成 18 年度より行われており、今年度で 4 回目の開催となる。

本報告会は、「生態系モニタリング調査事業」の調査実施者を中心として、さまざまな分野の研究者が調査結果を発表することにより、行政機関と研究者の意見交換や異分野の研究者同士の交流を行うことにより、研究の成果を知床の保全につなげるとともに、研究者間のネットワークの構築をはかることを目的とする。

プログラム

講堂（会場1）

挨拶 出江俊夫（環境省釧路自然環境事務所 所長） 09:30 - 09:35

趣旨説明 山中正実（財団法人 知床財団 事務局長） 09:35 - 09:45

口頭発表

社会科学系調査 10:00 - 12:00

座長 小林昭裕（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、専修大道短大）

（※氏名左上の°は報告者）

10:00 - 10:20

知床五湖とその周辺における自動車・利用者の流動の解析

°愛甲哲也・庄子 康（北大院農）・蜂谷菜保子（北大院環境科学）・佐竹暁子（北大創成研）、
西成活裕（東大先端科学技術研）、山口和男（自然環境コンサルタント）、赤根慶一・真柳 淳
（北電総合設計）

10:20 - 10:40

知床五湖の利用コントロール導入に対する利用者の評価

°庄子 康・椎名博之（北大院農）・久保雄広（北大農）・愛甲哲也（北大院農）

10:40 - 11:00

羅臼岳登山道における携帯トイレ推進とブース導入試験の効果検証

°山口和男（㈲自然環境コンサル）・愛甲哲也（北大院農）・環境省釧路自然環境事務所

11:00 - 11:20

①利用者意識の把握手法

②情報に対する利用者の認知や要望

°小林 昭裕（専修大道短大）

11:20 - 12:00 質疑・討論

昼食 12:00 - 13:00

陸域生態系関連調査（植物）

13:00 - 14:20

座長 石川幸男（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、エゾシカワーキンググループ委員、
専修大道短大）

13:00 - 13:20

知床岬における植生回復試験区の 2009 年度モニタリング調査

°宮木雅美（酪農大環境システム）・梶 光一・山本悠子（東京農工大院共生科学技術）・
佐々木紘美（酪農大環境システム）

13:20 - 13:40

知床岬先端部におけるシカからの採食圧の立地環境による違いと、半島基部における防鹿柵の
効果について

北海道森林管理局（調査・とりまとめ °宮 久史（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所）

13:40 - 14:00

知床半島におけるシレットコスミレの現状—分布、現存量と減少要因

°内田暁友（知床博物館）

14:00 - 14:10

知床半島斜里側の沿岸域における希少・在来植物群落分布の補足調査

°石川幸男（専修大道短大）・小平真佐夫（知床財団）

14:10 - 14:20

知床岬における植生回復試験区の 2009 年度モニタリング調査

村上智子（村山ギソー(株)）・°石川幸男（専修大道短大）・葛西真輔・秋葉圭太（知床財団）

14:20 - 14:30 休憩

陸域生態系関連調査（動物）

14:00 - 16:50

座長 梶 光一（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、エゾシカワーキンググループ座長、
東京農工大院共生科学技術）

14:30 - 14:50

隣接地区における輪採制を用いたエゾシカ狩猟の結果

°車田利夫（道環境研）

14:50 - 15:10

エゾシカ関連調査

°増田 泰（知床財団）

15:10 - 15:30

知床半島におけるオジロワシ・オオワシの現状と課題

°中川 元（知床博物館、オジロワシ・オオワシ合同調査 G、オジロワシモニタリング調査 G）

15:30 - 15:50

エゾシカ保護管理と希少猛禽類保全の両立を図る取り組み（中間報告）

°今榮博司（北大院農）

15 : 50 - 16 : 50 質疑・討論

16 : 50 - 17 : 00 休憩

総合討論

17 : 00 - 18 : 20

座長

梶 光一

**（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、エゾシカワーキンググループ座長、東京農工大院
共生科学技術）**

桜井泰憲

（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、海域ワーキンググループ座長、北大院水産）

講評 大泰司紀之（知床世界自然遺産地域科学委員会 委員長）

閉会挨拶 出江俊夫（環境省釧路自然環境事務所 所長）

18 : 20 - 18 : 30

研修室302（会場2）

口頭発表

河川生態系関連調査

10:00 - 12:00

座長 中村太士（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、河川工作物アドバイザー会議座長、北大院農）

10:00 - 10:20

イワウベツ川における河川工作物改良効果の検証～サケ科魚類遡上調査について～
北海道森林管理局（調査・とりまとめ °栗林貴光（ユニオンデータシステム㈱））

10:20 - 10:40

北海道知床半島でサケ科魚類を捕食するヒグマの生態：魚を捕獲する狩の技術は母から子へ伝承されるか？
°小宮山英重（野生鮭研究所）

10:40 - 11:00

知床世界自然遺産地域内におけるサケ属魚類の河川遡上動態と陸圏生態系への物質輸送に関する研究
°越野陽介・横山雄哉・阿部峻太（北大院水産）・宮本幸太（さけますセ）・工藤秀明（北大院水産）・野別貴博（知床財団）・南川雅男（北大院地球科学）・帰山雅秀（北大院水産）

11:00 - 11:20

シマフクロウの現状と知床の位置づけ
°竹中 健

11:20 - 12:00 質疑・討論

昼食 12:00 - 13:00

海洋生態系関連調査

13:00 - 16:50

座長 桜井泰憲（知床世界自然遺産地域科学委員会委員、海域ワーキンググループ座長北大院水産）

13:00 - 13:20

知床半島沿岸域のサイズ別クロロフィル *a* と基礎生産量～現場観測と衛星観測からのアプローチ
°塩本明弘（東農大生物産業）・齊藤誠一・平譚 亨（北大院水産）

13:20 - 13:40

知床羅臼深層水により採集された動物プランクトン群集の季節変化

◦山口 篤（北大院水産）・野別貴博（知床財団）・羅臼町役場・羅臼漁業協同組合

13:40 - 14:00

知床半島周辺海域における底生魚類の食物関係

◦加藤寛紀・桜井泰憲（北大院水産）・山本 潤（北大 FSC）・西田芳則（道中央水試）・野別貴博（知床財団）

14:00 - 14:10

知床半島沿岸におけるコンブ林分布の年変動（2007-2009 年）について

◦南 憲吏（京大 FSEC）・宮下和士・東条興斉・安間洋樹（北大 FSC）・伊藤祐介（北大院環境科学）・田丸 修（北大院水産）・野別貴博（知床財団）

14:10 - 14:20

知床半島周辺海域へ回帰したサケ属魚類の接岸タイミング及び接岸後の移動パターン

◦水越麻仁・本多健太郎（北大院環境科学）・岳 雪蓮（北大院水産）・篠原 陽（北大水産）・野別貴博（知床財団）・三谷曜子・宮下和士（北大 FSC）

14:20 - 14:40

知床半島沿岸における浅海域生物相調査

◦矢部 衛・五嶋聖治（北大院水産）・阿部剛史（北大総合博）・小亀一弘（北大院理）・千葉 晋・園田 武（東農大生物産業）・野別貴博（知床財団）

14 : 40 - 15 : 10 質疑・討論

15 : 10 - 15 : 20 休憩

15:20 - 15:40

知床におけるケイマフリの生息状況と保護への問題点

◦福田佳弘（知床海鳥研究会）

15:40 - 16:00

高次捕食者相による知床・羅臼沖の利用～鯨類相の季節ごとの分布とその密度推定とアザラシの食性分析～

◦小林万里（東農大生物産業・北の海の動物セ）・笹森琴絵（北の海の動物セ）・山本暁代（東農大生物産業）・渡辺なつ樹（東京農工大農）・加藤菊緒（北の海の動物セ）

16:00 - 16:20

北海道周辺海域のトド：生態と漁業被害について

◦山村織生・服部 薫 (水総研セ・北水研)

16 : 20 - 16 : 50 質疑・討論

16 : 50 - 17 : 00 休憩

ポスター発表

講堂（会場 1）

1. 衛星写真判読による植生図作成
北海道森林管理局（調査・とりまとめ ユニオンデータシステム(株)）
2. 北大所蔵標本から見る知床半島フロラ
高橋英樹（北大総合博物館）
3. 知床岬地区におけるアメリカオニアザミの除去による分布変化
財団法人知床財団
4. 知床世界自然遺産地域およびその周辺部におけるセイヨウオオマルハナバチの捕獲状況
財団法人知床財団
5. 「知床半島緑の回廊」における猛禽類調査
北海道森林管理局（社） 日本森林技術協会）
6. 知床半島における外来アライグマの侵入状況と対策課題
池田 透・島田健一郎（北大文 地域システム）
7. 安定同位体を用いたヒグマの食性分析
松林 順・森本淳子（北大院農）・間野 勉（道環境研）・南川雅男（北大地環研）・
中村太士（北大院農）
8. 知床半島のヒグマ高密度地域における調査について～エゾシカ新生子の減少とヒグマによる捕食の影響、及び、個体識別調査など～
山中正実（知床財団）・小林喬子（東京農工大）・下鶴倫人・坪田敏男（北大院獣医）

研修室 302（会場 2）

1. しれとこ 100 平方メートル運動 ～岩尾別川と幌別川におけるサクラマス個体群の復元に向けた取り組み～
財団法人知床財団
2. 知床半島両側の 10 河川における外来魚生息状況調査
財団法人知床財団
3. 平成 21 年度 知床半島沿岸域における海洋観測ブイを用いた海洋観測
峰 寛明（エコニクス）・環境省釧路自然環境事務所

4. オホーツク海南部域におけるアイスアルジーと植物プランクトンの分布
服部 寛・小田島 功（東海大生物理工）・野村大樹・豊田威信（北大低温研）
5. 水中ロボットカメラ（ROV）を用いた知床周辺海域における生物相のマッピング
山本 潤（北大FSC）・岩森利弘（北大院情報科学）・野別貴博（知床財団）・
桜井泰憲（北大院水産）
6. 知床らうす深層水ポンプで採集された魚類
町 敬介（北大院水産）・野別貴博（知床財団）・矢部 衛（北大院水産）・羅臼町役場・羅
臼漁業協同組合
7. 知床半島東岸におけるトドの来遊状況～2008/09年および2009/10年冬季～
石名坂 豪（知床財団）・伊田直歩・梅可奈子・土屋誠一郎（酪農大環境システム）・
坂部皆子（知床財団）・吉田剛司（酪農大環境システム）・田澤道広・増田泰・
山中正実（知床財団）
8. 2006-2008年の偶発的な目視観察に基づく知床・根室海峡に出現したシャチの
写真識別カタログ
佐藤晴子（知床・根室海峡シャチ連絡会、知床クジラの会）